



にぎわい東北
— つなげよう、ふるさとのチカラ



2017年12月20日
株式会社コックス

「コットンから 次の東北をつくりたい」

コックスが「東北コットン収穫祭 in 東松島農場」に参加しました！

宮城県東松島市で2017年11月18日（土）開催



株式会社コックスは、東北復興支援・創生活動の一環として「東北コットンプロジェクト」に2012年より参加し、支援商品の発売や綿花の種まき・草取りなどのボランティア活動に取り組んでいます。本年も、2017年11月18日（土）、宮城県東松島市の「東松島農場」にて開催された「東北コットンプロジェクト 2017 収穫祭」に当社社員4名が参加しました。地元の方や他企業の方も一緒に、手作業でコットンの収穫を行ないました。



真っ白に弾けたコットンを手作業で収穫！

当日は前日までの雨予報をよそに、時々晴れ間も見える中、コットンの収穫をすることができました。今年は気温低下が続き綿の生育が遅れていたため、まだ実の弾けていないコットンも見受けられましたが、それでもあつという間に、配られたビニール袋いっぱいコットンを収穫できました。

コットンの収穫は全て手作業で行ない、ゴミなどが付かないよう丁寧に袋に集めていきます。綿を掴みそっと引っ張るだけで実から離れるため、誰でも簡単に収穫できます。農場では小さな子供からお年寄りまで、次から次へと夢中になりながら綿花を摘んでいました。この日収穫した綿花は紡績・生地化を経て、2019年3月に商品として当社店頭にて発売予定です。

農場近くのビニールハウスでも収穫しました



農場で収穫後、車で5分ほど離れたビニールハウスへ移動しこちらでも Cotton の収穫を行ないました。屋外にある農場と違い気候に左右されないため、溢れんばかりの Cotton が至る所に弾けていました。短時間でしたが、あっという間にビニール袋がいっぱいになり、参加した社員も次々と Cotton の収穫に励んでいました。こちらの Cotton が全体的に緑色なのは、ハウス内で外気に触れないため乾燥が進まず、水分を保っているためです。

当社の参加者からは、「東北復興のために尽力する人々と触れ合え、印象深い経験だった」、「持続的にこのプロジェクトに参加していきたい」などの声が聞かれ、今後も復興支援を継続的に行なっていく大切さを実感した1日でもありました。

収穫以外にも、地元の方々による催しも披露され盛り上がりました

収穫祭では、綿の収穫以外にも地元の方々による和太鼓の演奏や、チアダンス、マジックショーなどが披露され参加者たちを楽しませてくれました。また様々な飲食販売ブースも用意され、無料で豚汁が振る舞われた他、カレーや牡蠣の蒸し焼きなどが販売されました。また収穫祭の終盤には、全員参加型の抽選会が開かれ、地元のお米や Cotton 製品などが参加者にプレゼントされました。食事や催しを通して、地元の方と交流もでき有意義な時間を過ごすことが出来ました。



東北 Cotton プロジェクトとは

「東北 Cotton プロジェクト」は、東日本大震災の津波により稲作が困難になった農地において、塩害に強い「綿」の栽培から、紡績・生地化・商品化・販売までを一貫して実施する復興支援プロジェクトです。長期視点で被災地の復興を考える農家と企業が集まり、農業を基盤とした東北の新たな農産業の確立を目指しています。

震災直後の 2011 年、「塩害に強い綿花を育て、復興を支援しよう」と、アパレル関係者などが被災地の農業生産組合や農業法人に呼びかけて栽培が始まり、徐々に収穫量も増えてきました。

当社では、農場での種まきや草取り、収穫した綿花を生地に使用した商品の発売などを通じて、2012 年より継続的な支援を行なっております。



コックスは今後も引き続き、1日でも早い東北の復興と発展を願い、ファッションを通じた様々な支援活動を行なってまいります。